



## 平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月29日

上場会社名 ニホンフラッシュ株式会社  
 コード番号 7820 URL <http://www.nfnf.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 栄二  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理統括部長 (氏名) 庄野 淳  
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月5日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 0885-32-3431

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	9,959	15.3	1,656	30.2	1,620	27.9	1,140	28.3
25年3月期第3四半期	8,641	44.1	1,272	272.8	1,266	245.5	888	237.2

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 1,706百万円 (79.0%) 25年3月期第3四半期 953百万円 (335.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	199.23	—
25年3月期第3四半期	155.26	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	15,126	8,657	57.2	1,512.43
25年3月期	12,199	7,123	58.4	1,244.34

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 8,657百万円 25年3月期 7,123百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	10.00	—	20.00	30.00
26年3月期	—	10.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	20.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,300	18.0	1,980	8.2	1,980	7.0	1,350	11.2	235.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
(注)詳細は、添付資料3ページ「サマリー情報(注記事項)」に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 有  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無  
(注)詳細は、添付資料3ページ「サマリー情報(注記事項)」に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	6,100,000 株	25年3月期	6,100,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	375,605 株	25年3月期	375,605 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	5,724,395 株	25年3月期3Q	5,724,411 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なることがあります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出環境の改善や政府の経済・金融政策などを背景に、全体として景気回復の兆しが現れております。

一方で、円安進行による原材料価格の上昇、欧州・新興国の景気動向や不安定な国際情勢等により、依然として先行きは不透明な状況にあります。

このような状況の下、当社グループは、国内で安定した利益を確保するために、損益分岐点を下げ、より引き締まった筋肉質の企業作りに取り組んでまいりました。

製造活動におきましては、品質第一を最重要テーマに掲げた活動をはじめ、効率化を図るための生産ラインの改善活動やコスト削減活動を継続的に実施し、徹底した時間管理による生産性の向上や原価低減に取り組んでまいりました。これら活動の結果、国内の営業利益率は前年同四半期比に比べて大きく改善しました。

受注活動に関しましては、一戸当たりの売上増を図るため、主力の内装ドアの製造販売に加え家具収納を積極的に販売する等、販売の効率化に取り組んでまいりました。また、前年に引き続き、老健施設向けの競争力を備えた新製品の開発や販売強化にも注力いたしました。これらの活動の結果、当第3四半期連結会計期間末における受注残高は4,849百万円（前年同期比48.1%増）となっております。

一方、中国の不動産市場を巡っては、中国政府は住宅バブル対策として、規制に乗り出していますが、規制対象は北京市や上海市などの大都市に限られており、また、対策も1世帯が2軒目を購入する場合の資格やローン利用の制限など限定的なものであります。

中国の総人口に占める都市居住者率は、先進国に比べるとまだまだ低く、中国の都市化は初期段階にあります。都市の受け入れ体制を整えるため、中国政府は低所得者向け住宅の整備を継続しており、今後も農村から都市への長期的な人口移動が続き不動産の発展の余地は大きいと見込んでおります。

これを背景に、内陸部等地方都市においても、今後高い成長が見込まれることから、中国内陸部への供給体制の拡充を図るため、江西省宜春市に新工場を建設し、2013年9月1日から本格操業を開始しております。

また、中国政府の内装付住宅の推進により、当社グループの主力製品である室内ドア等、内装部材に対する需要は堅調に推移しております。

このような環境の下、シェアの確保と取引先の新規開拓に向けて、中国国内での営業所を大幅に拡充し、省都を中心とした主要都市25ヶ所（2012年12月末15ヶ所）に展開、ほぼ全土を網羅しております。このように販売網を強化し、積極的な受注活動を行った結果、当第3四半期連結会計期間末における受注残高は4,957百万円（前年同期比36.8%増）と順調に推移いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は9,959百万円（前年同期比15.3%増）の増収となりました。また利益面では、中国新工場の立ち上げに関わる費用（概算約1億円程度）が発生し利益押し下げ要因になっているものの、営業利益1,656百万円（前年同期比30.2%増）、経常利益1,620百万円（前年同期比27.9%増）、四半期純利益1,140百万円（前年同期比28.3%増）の増益となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産総額は15,126百万円となり、前連結会計年度末より2,926百万円増加しております。これは主に、現金及び預金の増加531百万円、受取手形及び売掛金の増加1,106百万円、電子記録債権の増加218百万円、商品及び製品の増加169百万円、建物及び構築物（純額）の増加516百万円、有形固定資産のその他（純額）に含まれる機械及び装置の増加270百万円によるものです。

負債総額は6,468百万円となり、前連結会計年度末より1,392百万円増加しております。これは主に支払手形及び買掛金の増加611百万円、短期借入金の増加261百万円、未払金の増加290百万円によるものです。

純資産につきましては、8,657百万円となり、前連結会計年度末より1,534百万円増加しております。これは主に利益剰余金の増加968百万円、為替換算調整勘定の増加512百万円によるものです。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末より1.2%減少して57.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の業績予想につきましては、平成25年5月8日に公表しました通期の業績予想の数値から変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率に乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(在外連結子会社の収益及び費用の換算方法の変更)

従来、在外連結子会社の収益及び費用は決算日の直物為替相場により円貨に換算しておりましたが、在外連結子会社の重要性が増加傾向にあり、かつ、近年の為替相場の変動も大きいことから、換算に期中平均為替相場を用いることが在外連結子会社の業績をより適切に連結財務諸表に反映させることになるため、第1四半期連結会計期間より期中平均為替相場により円貨に換算する方法に変更しております。

当該会計方針の変更は遡及適用され、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。

この結果、遡及適用を行う前と比べて、前第3四半期連結累計期間の売上高は64,864千円、営業利益は15,753千円、経常利益は13,275千円、四半期純利益は9,943千円、それぞれ増加しております。また、前連結会計年度の期首の純資産に累積的影響額が反映されたことにより、利益剰余金の前期首残高は990千円増加し、為替換算調整勘定の前期首残高が同額減少しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,094,135	1,625,461
受取手形及び売掛金	5,253,691	6,360,236
電子記録債権	434,705	653,232
商品及び製品	350,696	520,430
仕掛品	94,399	138,746
原材料及び貯蔵品	297,599	330,342
繰延税金資産	49,271	60,716
未収入金	32,475	65,453
その他	276,360	341,287
貸倒引当金	△44,000	△48,000
流動資産合計	7,839,336	10,047,907
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,078,377	1,594,890
土地	962,125	962,125
その他（純額）	832,527	867,184
有形固定資産合計	2,873,031	3,424,200
無形固定資産		
その他	132,881	215,877
無形固定資産合計	132,881	215,877
投資その他の資産		
投資有価証券	1,035,206	1,129,076
関係会社出資金	44,700	44,700
会員権	72,995	44,995
その他	202,250	220,254
貸倒引当金	△664	△664
投資その他の資産合計	1,354,487	1,438,362
固定資産合計	4,360,400	5,078,440
資産合計	12,199,737	15,126,348

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,621,163	2,232,662
電子記録債務	—	2,878
短期借入金	1,589,874	1,851,782
1年内返済予定の長期借入金	26,057	31,104
未払金	686,928	977,680
未払法人税等	304,607	290,557
未払消費税等	31,501	29,676
賞与引当金	44,245	29,543
その他	301,910	559,154
流動負債合計	4,606,290	6,005,040
固定負債		
長期借入金	16,286	560
繰延税金負債	28,725	57,759
退職給付引当金	166,136	146,079
長期未払金	259,180	259,180
固定負債合計	470,328	463,580
負債合計	5,076,618	6,468,620
純資産の部		
株主資本		
資本金	866,000	866,000
資本剰余金	691,000	691,000
利益剰余金	5,463,879	6,432,596
自己株式	△260,922	△260,922
株主資本合計	6,759,956	7,728,673
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	165,856	218,840
為替換算調整勘定	197,305	710,214
その他の包括利益累計額合計	363,162	929,054
純資産合計	7,123,118	8,657,728
負債純資産合計	12,199,737	15,126,348

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	8,641,240	9,959,914
売上原価	5,744,465	6,445,548
売上総利益	2,896,774	3,514,365
販売費及び一般管理費	1,624,665	1,858,212
営業利益	1,272,109	1,656,152
営業外収益		
受取利息	1,140	6,280
受取配当金	19,180	30,668
受取賃貸料	13,984	13,633
為替差益	—	51,301
その他	10,001	4,848
営業外収益合計	44,307	106,731
営業外費用		
支払利息	38,171	49,399
手形売却損	—	89,046
為替差損	6,595	—
その他	5,087	4,376
営業外費用合計	49,854	142,822
経常利益	1,266,562	1,620,061
特別損失		
固定資産除却損	10,237	201
ゴルフ会員権退会損	—	5,000
特別損失合計	10,237	5,201
税金等調整前四半期純利益	1,256,325	1,614,860
法人税等	367,546	474,411
少数株主損益調整前四半期純利益	888,779	1,140,449
四半期純利益	888,779	1,140,449



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	888,779	1,140,449
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	79,861	52,983
為替換算調整勘定	△15,472	512,908
その他の包括利益合計	64,389	565,892
四半期包括利益	953,168	1,706,341
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	953,168	1,706,341

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。